

第3回ジオパーク下仁田協議会ガイド部会（報告）

日時 令和3年9月17日（金）午後7時00分～

場所 下仁田町自然史館・ミーティングルーム

所 属	氏 名	出・欠	所 属	氏 名	出・欠
下仁田ジオパークの 会・鉄山研究会	大河原 順次郎	出	下仁田ジオパークの会	松原 信也	欠
下仁田ジオパークの会	森川 恵美子	出	下仁田町観光協会	津金澤 英美	出
下仁田ジオパークの会	神戸 百合子	出	下仁田自然学校	中村 由克	出
下仁田ジオパークの会	高橋 敏博	出	協議会事務局	林 通典	出
下仁田ジオパークの会	高橋 真理子	出	協議会事務局	赤岡 明	出
下仁田ジオパークの会	黒澤 雅史	出	協議会事務局	関谷 友彦	出
下仁田ジオパークの 会・荒船風穴解説員	堀口 和利	欠			

1 開 会

2 協議事項

① 下仁田ジオパーク ストーリー・テーマ（案）について

別紙. 1 前回検討した3つのストーリー・テーマを再度検討し、また3つのストーリーを束ねるキャッチフレーズ（パンフレットの表紙を飾る言葉）について検討しました。

テーマ・ストーリーについての意見

（テーマ1 海から陸への大変動の生き証人）

・「昔話に描かれているような不思議な山」

→日本昔話のこと？ 不思議な山は下仁田の人にとって不思議かもしれないけど、外からの人には普通の山

・「大地の大移動の傷跡」

すべり面はともかく、褶曲や蒔田では傷跡という表現はいかなものか

(テーマ2：太平洋と日本海を分けた古い火山)

・「山をはさんで東側は・・・・に流れます」

→荒船から分岐するのは鑓川と千曲川なので、「東側は太平洋へ。西側は日本海へ流れます」という表記がいいのでは

(テーマ3：東西の文化とモノの交差点)

「関東と信州を結ぶ“下仁田の道”を通して」

→下仁田を経由する道という意味で流通の幅を表すなら信州より先まであるし、下仁田道を表現するなら、上州と信州というひょうげんにしたほうがよい。

(キャッチフレーズについての意見)

- ・他のジオパークのキャッチフレーズを参考にし、一目で場所がわかるフレーズがある方がいいのではないか。
- ・上毛新聞で記事になった「南蛇井駅が海から2番目に遠い駅」これはインパクトが強い。キャッチフレーズに組み込んでどうか？
- ・下仁田らしさ、やはり根なし山を入れるのがいいか？
- ・「ネギとコンニャク」 下仁田と言えばネギと大体の人がわかる場所使った方がいい。

② 下仁田ジオパーク アクションプラン (2022～2027) (案) について
別紙. 2 これまでに協議してきた議論を踏まえて、アクションプランの再確認を行いました。微修正をしたのちに、ガイド部会決定案として、協議会に提出します。

③ 下仁田ジオパーク ガイド認定 (案) について

別紙. 3 下仁田ジオパークガイド認定要項を作成し、新規ガイド2名を認定し、平成28年度認定ガイド4名の認定更新をしました。

次回の部会開催について

10月7日(木) 19:00～下仁田町自然史館にて